

# 1. 3つの情報概念 (情報の定義)

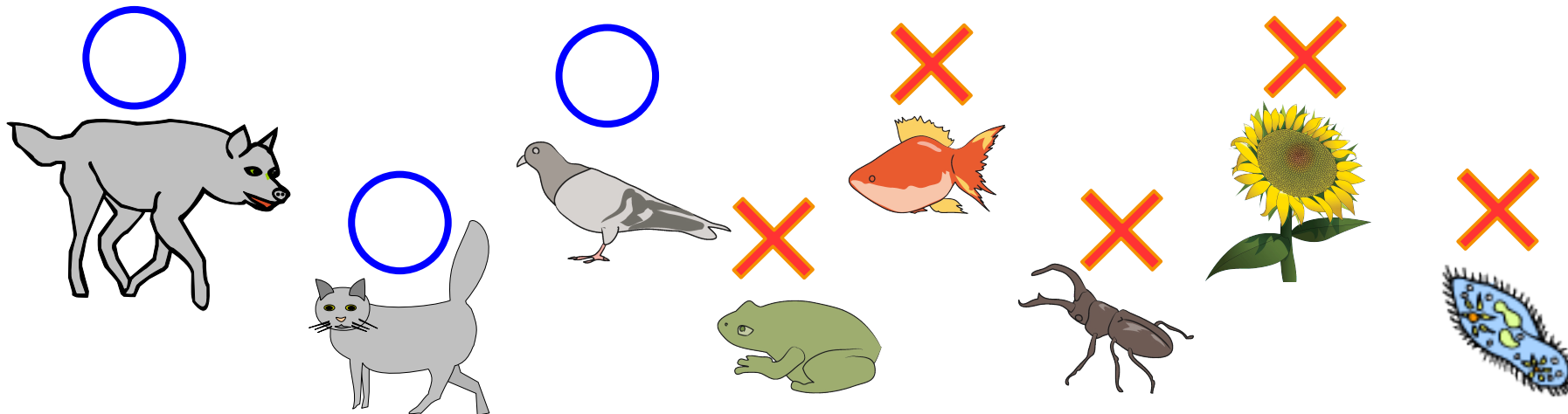
## 1-2. 社会情報

「人が意図的に記述、描画、動作などにより交換し合うあらゆるもの」

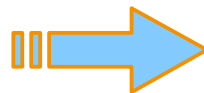
# 生物の自己意識

自分自身についての意識  
(一次志向意識水準)

すべての生命に自己意識はあるか？



- 全ての生物は生命情報を利用している。
- 全ての生物に自己意識は存在しない。



生命情報と自己意識は無関係

# 生命情報と人の意識

脳神経学が解き明かした、人が感情 (feel, 自己意識) を得るまでのステップ

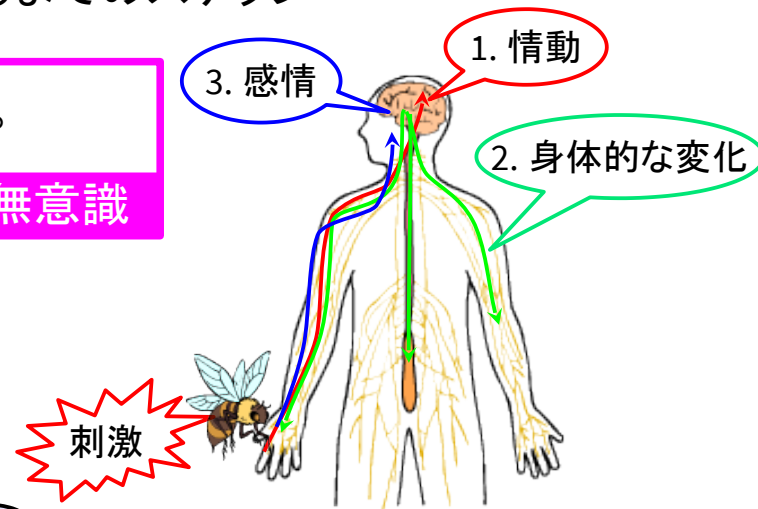
1. 知覚された生命情報が脳に届き情動 (emotion) を起こす。
2. 脳に生じた情動が神経を伝わり身体的な変化を起こす。 無意識
3. 身体的な変化を脳が認識し感情 (feel) が発生する。

発生しない場合も多々ある

原 - 情報、暗黙知

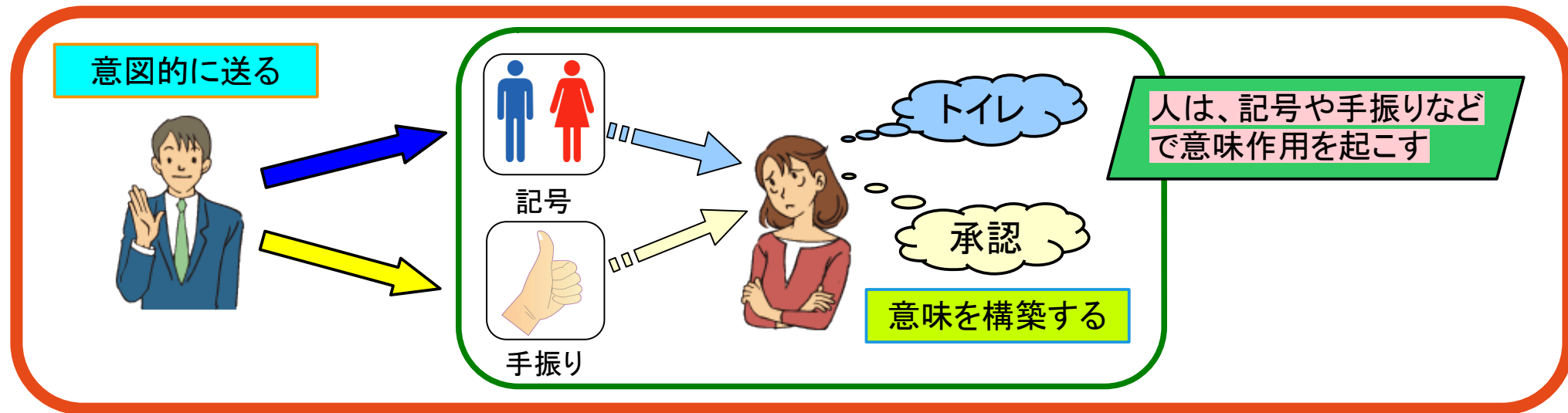
意識されない生命情報

人の場合には生命情報が意識されない場合が多々ある



# 社会情報

生命情報には意味作用がある。 → 意味作用を起こすものは情報である。



社会情報

人が意図的に記述、描画、動作などにより交換しあうあらゆるもの

社会情報 = メッセージ

# 社会情報がもたらす意味

言語記号（社会情報）による意味作用

平仮名の情報

こい

- 鯉
- 恋
- 故意
- 濃い
- 来い
- ...



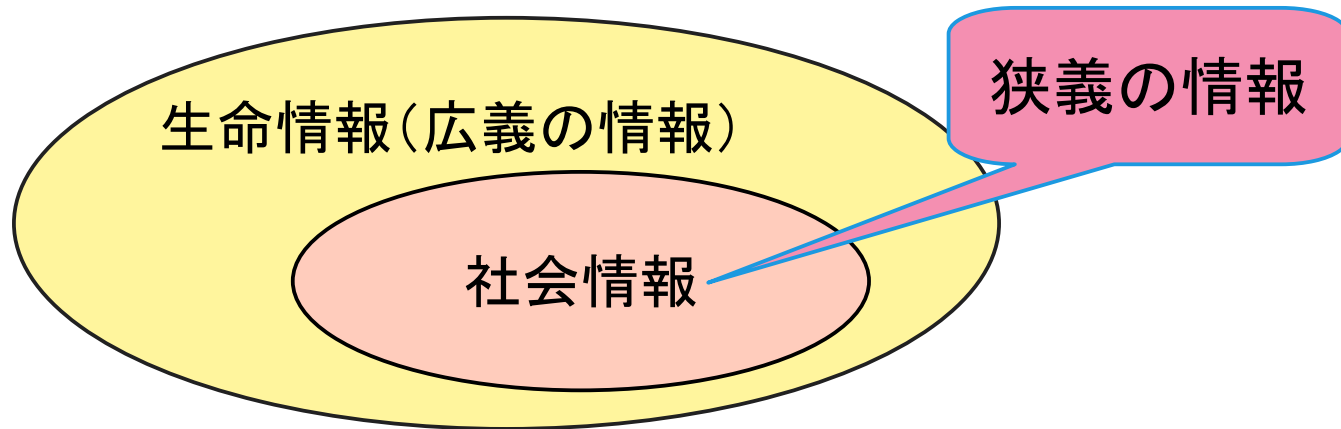
主観的に構築

文字に限らず画像、動画、音楽でも同じ

社会情報がもたらす意味も主観的に構築される。

# 社会情報＝狭義の情報

- 社会情報を知覚するのは人の感覚器官である。→ 生命情報の一種
- 社会情報は生命情報としても振る舞う。



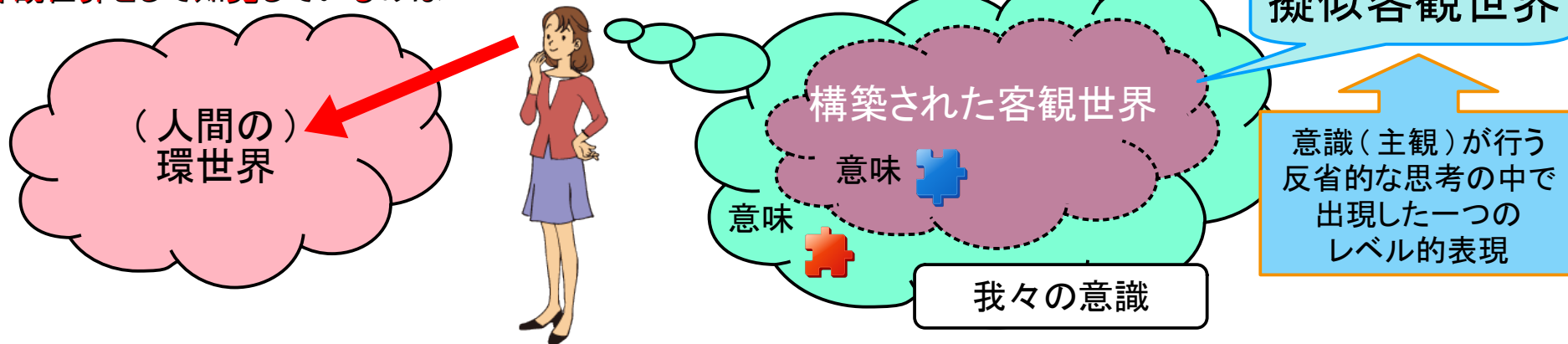
社会情報は生命情報に包括される。

生命情報 ⊃ 社会情報

# 擬似客観世界

- 1.生物は主観としての知覚を利用して各々の環境を構築している（環世界）。
- 2.情報によって構築される意味も主観的に構築される。

客観世界として知覚しているのは…



どんな知覚も、又それによる意味も客観的（絶対的）ではない

天下りの客観性を否定！

# 課題1 進化論の矛盾？

現在の進化論は、突然変異と自然淘汰(選択)の二つを軸に構成されています。

遺伝子の変化で形質や生態が劇的に変わる。

より環境に適したものが生き残る。

環境の最適者しか生き残れない

一つの環境には、一種類の生物種しか生存できない!?

矛盾？

この結論を、今回までの授業内容だけを利用して矛盾ではないことを説明して下さい。

## 課題2 色彩とそれを表す言葉

生まれつき赤色と青色が逆に見える視覚を持ったAさんがいたとします。このAさんに他の人と色覚が異なることを、「赤」や「青」という言葉を修得するときの状況を考慮した上で、伝える（気づかせる）方法を考えてください。

終わり